

## 2019年度 在外研究制度 研究員一覧

所属	職名	氏名	種別	期間	主たる研究国	主たる研究機関	研究題目	研究成果報告	備考
文	准教授	田中 裕介	長期 (1年)	2019.4.1 ～ 2020.3.31	イタリア	ヴェネツィア建築大学 サレント大学	近代イギリスとイタリアの文化交流についての歴史的 研究	研究期間終了後に掲載予定。	—
	准教授	ADAMI.Sylvain.	長期 (1年)	2019.4.1 ～ 2020.3.31	フランス	フランシュ・コンテ大学	フランス語教育におけるe-learningの活用方法	研究期間終了後に掲載予定。	—
	准教授	菊地 重仁	長期 (1年)	2019.4.1 ～ 2020.3.31	ドイツ	ベルリン自由大学	ヨーロッパ初期中世における紛争抑止「装置」につ いての総合的研究	研究期間終了後に掲載予定。	—
	准教授	三浦 哲哉	長期 (1年)	2019.4.1 ～ 2020.3.31	アメリカ	南カルフォルニア大学映画芸術 学部	アメリカ合衆国における映画製作および映画教育 における「古典映画」の位置と役割	研究期間終了後に掲載予定。	—
教育 人間科	教授	杉本 卓	長期 (1年)	2019.4.1 ～ 2020.3.31	フィンランド	タンペレ大学	初等中等教育の授業における情報通信技術の 導入・拡充プロセスに関する研究；フィンランドの 小中学校での授業観察・聴き取り調査を通して	研究期間終了後に掲載予定。	—
経済	准教授	高 準亨	長期 (1年)	2019.8.5 ～ 2020.8.4	アメリカ	コロンビア大学	世界の住宅市場の運動性について：東アジア諸 国を中心に	研究期間終了後に掲載予定。	—
国際 政治 経済	准教授	渡邊 理絵	長期 (1年)	2019.9.6 ～ 2020.9.5	アメリカ	University of Southern California Harvard University University of Maryland	気候政策転換とアクターの理念：米国を事例とし て	研究期間終了後に掲載予定。	—
総合文 化政策	准教授	福田 大輔	長期 (1年)	2019.9.1 ～ 2020.8.31	フランス	パリ第8大学 精神分析研究科	フランス1920年代から30年代までの精神 分析運動について — マリー・ボナバルトとジャック・ラカンを中心として—	研究期間終了後に掲載予定。	—
理工	教授	水山 元	長期 (1年)	2019.4.1 ～ 2020.3.31	スウェーデン オランダ	王立工科大学 デルフト工科大学	多主体協働系の制度設計、ならびにその構成員 のスキルの解明、評価、習得支援のためのシリアス ゲーミングアプローチ	研究期間終了後に掲載予定。	—
法務	教授	熊谷 士郎	長期 (1年)	2019.9.1 ～ 2020.8.31	ドイツ	ゲッティンゲン大学	成年後見法の理論体系の構築に向けて —ドイツ法との比較を手がかりとして—	研究期間終了後に掲載予定。	—